

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	36116	
事業名	広域型特別養護老人ホーム新築等補助金						
評価担当課	所属名	保)高齢保健福 介護保険課					
	課長名	池田 清美	担当者名	櫻井 敦史	電話番号	011-211-2972	
施策名	主	地域に密着した保健福祉サービスを提供する環境づくり					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	アクションプラン2019に基づき、令和5年度までに定員7,530人分の床数を整備着工する。				
		長期	団塊の世代がすべて75歳以上となる令和7年度に向け、入所の必要性及び緊急性の高い方が早期に入所できるよう着実に整備を進める。				
	取組内容	1.特別養護老人ホームの整備 (令和2年度着手分:出来高10%) 2施設合計 63,990千円/180床 (令和3年度着手分:出来高90%) 2施設合計 639,900千円/200床 2.要配慮者二次避難所用スペースの整備(創設のみ) (令和2年度着手分:出来高10%) 合計2施設 4,000千円(令和3年度着手分:出来高90%) 合計2施設 36,000千円					
実施結果	広域型特別養護老人ホーム 【令和2年度整備分】2施設(定員180名分)の整備を進め、令和3年6月(創設80名)、令和4年3月(創設100名)と令和3年度内にすべて開設。 【令和3年度整備分】2施設(定員180名分)については、着工等の遅れにより、1施設が令和5年1月(創設80名)、1施設が令和5年3月(創設100名)に開設予定。						
事業実施における工夫点	整備希望事業者向け報道機関への投げ込み、公式HPへの掲載、事前相談等による対応						
対象者	特養入所申込み者及び特養整備事業者			開始	令和3年度	終了	令和5年度
関連法令・条例・要綱等	老人福祉法第15条第4項及び同法第20条の11、札幌市広域型特別養護老人ホーム整備費補助金交付要綱、札幌市要配慮者二次避難所用スペース整備費補助金交付要綱						
他都市の状況	要介護者の増加や特別養護老人ホームの待機状況、他の介護基盤の整備状況等を勘案し、補助金を交付し整備を促進している。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	444,773	1,082,000	511,480	1,251,000
うち特定財源	408,000	1,008,000	476,000	1,164,000
人工	2.6	2.6	0.0	2.6
人件費	18,720	18,720	0	18,720
計(事業費+人件費)	463,493	1,100,720	511,480	1,269,720
事業費の内訳	令和3年度決算	①+②=511,480千円 ①令和2年度整備分【特養】28,440千円×1(施設)、35,550千円×1(施設)【要配慮者二次避難SP】2,000千円×2(施設)=4,000千円【繰越分】337,950千円 ②令和3年度整備分【特養】28,440千円×1(施設)、71,100千円×1(施設)【要配慮者二次避難SP】2,000千円×1(施設)、4,000千円×1(施設)		
	令和4年度予算	①+②=1,251,000千円(端数調整+200千円) ①令和3年度整備分【特養】(3,555千円×180(定員))×0.1=63,990千円【要配慮者二次避難所SP】(20,000千円×2(施設))×0.1=4,000千円【繰越分】507,000千円 ②令和4年度整備分【特養】(3,555千円×200(定員))×0.9=639,900千円【要配慮者二次避難SP】(20,000千円×2(施設))×0.9=36,000千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	特別養護老人ホームの定員数(着工ベース)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	7073	7273	7167	7367	
	指標名				
活動指標2	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標1					
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	【令和2年度整備分】2施設(定員180名分)の整備を進め、令和3年6月(創設80名)、令和4年3月(創設100名)と令和3年度内にすべて開設。 【令和3年度整備分】2施設(定員180名分)については、着工等の遅れにより、1施設が令和5年1月(創設80名)、1施設が令和5年3月(創設100名)に開設予定。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	補助金額を増額し、他政令市とほぼ同水準とした。			
事業の実手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	補助金の交付は、現地検査及び書類審査を行い、工事進捗率を確認した上で適切に実施している。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	【特養待機者】特別養護老人ホームの待機者は減少傾向ではあるが、依然として多数存在していることから、今後も計画に基づき着実に整備を行う必要がある。 【整備事業者】特養整備希望事業者が減少傾向であることから、令和2年度整備事業者から補助金額を増額。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	なし。				
前回の評価	○ A ● B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし。			見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	特養待機者を解消しつつあることは評価でき、いまだ施設数が十分とは言えない状況下であるものの、整備希望事業者数が増えており、応募数が公募数を上回っている。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 「札幌市高齢者支援計画2021」に基づき、令和4年度整備事業者として選定したうちの2施設(定員200名)分、令和5年度整備事業者として公募している定員200名分について、工事進捗率に応じた補助金を交付する。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 ①【令和3年度整備分】補助金総額の10%×2施設 ②【令和4年度整備分】補助金総額の90%×定員200名分 上記①+②の総額を予算措置			見直し効果額